

校長室から応援メッセージ（４）

令和４年９月２日（金）

「後期授業の開始にあたって」

皆さん、こんにちは。来週から後期の授業が始まります。後期授業の開始にあたって、皆さんに対する応援メッセージを申し上げます。

今回も『論語』の一節を引用します。孔子が弟子に次のように述べています。「これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」。「知っているというのは好むのには及ばない。好むというのは楽しむのには及ばない」という意味です。楽しむというのは、「いつの間にかやっている」という感じでしょうか。

この「いつの間にか」という感覚は、皆さんもたびたび味わう感覚だと思います。いつの間にか高校時代が終わってしまった、いつの間にか今年の夏休みも終わってしまった。これは一瞬のうちに過ぎ去る現在という時間に対する驚き、感慨に関係しています。

私たちはまだ来ぬ未来と既に過ぎ去った過去とに挟まれた現在を生きています。現在は今だよと指し示そうとしたその途端、過去に練り込まれ消えていくかのようです。しかし膨らみ続ける過去として全てが記憶として保存されていくのです。今を生きるのに必要な記憶だけ意識するように脳が働くので、多くの記憶は日頃意識されませんが、無意識のうちに私たちの考え方や行動を左右しています。

人生の時間の最先端にいる私たちは過去の記憶と共にあり、そして過去の記憶に支えられて生きているということです。皆さんにはこの過去の記憶というものの重要性にもっと目を向けてほしいと思います。その上で、今がんばるのは未来を豊かにするためではなくて、過去を豊かにするためである、と考えることはできないでしょうか。

「これを楽しむ」とは今を楽しむことです。机に向かって知識をどんどん吸収し、パンパンに膨れ上がっていく自分を楽しむことです。知るも、好むも、全て含めて今を楽しむ、これが記憶として残ります。

今の自分を楽しみながら時間の中をぐんぐん進んでいってください。未来はこうして過去にどんどん組み込まれて豊かさを増しつつ、いつの間にか自分の生きる力となっているのです。皆さんの健闘を心から祈り、本日の話を終わります。ありがとうございました。